

シリーズごみ第3回では、南部町における可燃ごみ、不燃ごみなどの状況や、これからの予測、南部町が収集するRPFの材料などを記載しました。シリーズごみ第4回では、南部町においてごみを処理するためにどのくらいのお金がかかるのか、RPFの材料として不適切なものはどのようなものなのか、また、どのような理由により不適切なのかなどを述べていきます。

### ごみの処理は・・・

南部町では、可燃ごみの処理は南部町・伯耆町清掃施設管理組合クリーンセンターで、不燃ごみ・資源ごみの処理は西部広域行政管理組合リサイクルプラザで、発泡スチロール・乾電池・蛍光灯の処理は町が処理業者に委託しています。

可燃ごみの場合、平成16年度において2,496トンの処理をしましたが、1トンあたり46,530円の処理費が必要でした。前回のシリーズごみ第3回の表で、平成16年度

において1人1日561.5グラムの可燃ごみを排出があったとお知らせしました。とすると、この比較から、1人1日約26.1円の処理費が必要となったことがわかります。年間365日で計算すると、約9,527円となります。また、本年8月31日現在の世帯数の3,831世帯で、同日の人口である12,205人を割ると、平均的な世帯における家族の人数である約3.2人が求められます。先ほどの1人年間処理費約9,527円に平均的な家族の人数である約3.2人をかけると、1世帯あたり年間30,000円を超えるお金を可燃ごみの処理のために必要としたことがわかります。もちろん世帯あたりの家族数が多い場合は、さらに高い金額になります。また、これ以外に可燃ごみ袋代が必要となります。1世帯が週3袋出すと仮定すると、年間約160袋が必要となり、年間4,000円から5,000円を支払っていることとなります。

み袋を購入するためのお金も少なくなります。

### ごみの収集時刻など

これはクリーンセンターにおける可燃ごみの処理費と可燃ごみ袋代のみ金額ですが、さらに不燃物などの処理費、収集・運搬のための費用が別に必要となりますので、私たちが生活していくうえで排出するごみを処理するために、多くのお金が必要

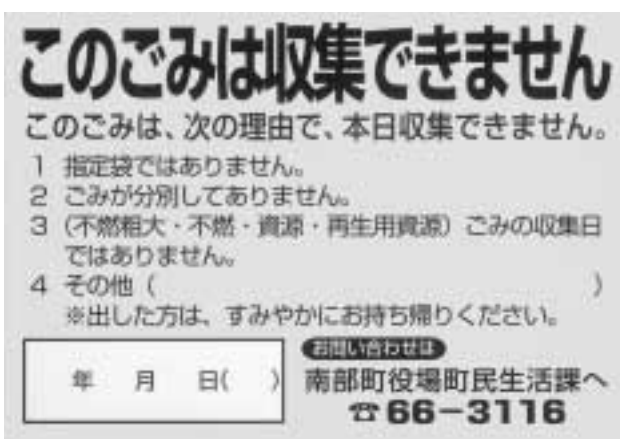
最近ごみの収集がされないなどの苦情を受けることがあります。可燃ごみの袋に記載のあるように、当日の午前8時までに集落の指定の場所に出してください。その時刻までに出されないと、収集車が回収してしまつた後になり、結果的に回収されないこととなる場合があります。

※RPF・プラスチックと紙から得られる燃料

## シリーズごみ 第4回

※RPFの材料となる軟質プラスチックなどの分別収集を行うことにより、一層の効果が期待できます。実験的に軟質プラスチックなどの分別収集を行った結果では、可燃ごみ袋の使用量が約半分になりました。もちろんこの結果は、ライフスタイル、季節、家族構成などにより変動することが想定されますが、かなり大きな効果をあげることが明らかです。

軟質プラスチックなどの分別収集を行うことにより、可燃ごみの処理に必要なお金が少なくなり、また各家庭の可燃ごみ袋の使用量が少なくなることにより、可燃ご



ごみを収集できないときに貼るシール  
(黄色地に黒文字 縦7cm×横10cm)

## RPFの材料として“不適當”な



※RPFの材料となるかどうか判断に迷った場合は、従来のおりの分別としてください。

※RPFの材料は集落の「発泡スチロール」の収集日に透明または半透明の袋に入れてだしてください。(スーパーの買物袋、市販の透明のごみ袋などで結構です。指定のごみ袋でなくてもかまいません)

## 軟質プラスチックなど(抜粋)

番号	主体原料名	主な用途例	備考
①	ポリエチレンテレフタレート：PET	PETボトル	PETボトルはPETボトルの日に出してください
②	ポリ塩化ビニール：PVC	農業用ビニール	肥やし袋など 産業廃棄物なので購入店にご相談ください
③	〃	ビニール手袋	塩素を含んでいます
④	〃	ビニールホース	〃
⑤	〃	人工皮革	〃
⑥	〃	人工芝	〃
⑦	〃	レインコート	〃
⑧	不飽和ポリエステル樹脂：FRP	釣竿、ヘルメットなど	グラスファイバーなどを含んでいます
⑨	〃	牛乳パック (500cc以上のもの)	500cc以上のものは古紙類の日に出してください
⑩	〃	シャンプー・リンス容器	塩素を含んでいます
⑪	〃	ハミガキ容器	〃
⑫	〃	マヨネーズ容器	〃

また、何らかの理由によりごみを収集できないときは、上記の黄色のシールが貼ってあり、その理由も示してあります。このシールが貼ってあるごみは、出された方がすみやかに持ち帰りになり、適切な処理をお願いします。

※リサイクルプラザからのお願い  
ビデオテープを出すときには、中の磁気テープは可燃ごみで、残りのプラスチックは不燃ごみで出してください。そのまま処理すると、磁気テープが磁気を帯びているために選別装置に巻きつき、故障の原因となります。